

和歌山	二八四七一	二八四六一	七〇△	三〇五△	三三二△	五一	九州區	高知	三三九九九	三三六四	三〇五△	三三三△	四九〇△	四〇五△
鳥取	三三六五六	三三七七八	三六七八	二六七	四四七△	一七〇	福岡	福岡	一〇四八七四	一〇三三三	一〇三三三	一〇三三三	一〇三三三	一〇三三三
島根	三三六七〇	三三九六四	二二〇六	二二六六	八〇三	八〇三	佐賀	佐賀	五八三九九	五七九九九	五七九九九	五七九九九	五七九九九	五七九九九
岡山	三三六八八	三三七六六	五〇三	一九九〇	二〇四七△	四四七	長崎	長崎	二九三七一	二九〇三三	二九〇三三	二九〇三三	二九〇三三	二九〇三三
廣島	三三六九二	三三〇〇四	五〇八	二二五三	二四九〇	二六五	熊本	熊本	八二七七五	八二七七五	八二七七五	八二七七五	八二七七五	八二七七五
山口	三三六九三	三三六六三	四〇〇	六三〇五	六〇一〇	一九三	大分	大分	五八四九七	五八四九七	五八四九七	五八四九七	五八四九七	五八四九七
四國區							宮崎	宮崎	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三	三三三三三
徳島	三三六九六	三三〇〇二	三九四	三三一	三三三△	四二	鹿兒島	鹿兒島	八〇九九〇	八〇九九〇	八〇九九〇	八〇九九〇	八〇九九〇	八〇九九〇
香川	三三六九六	三三〇〇八	一五八	一〇九六	一〇八三〇△	二四	沖繩	沖繩	六四九九	六四九九	六四九九	六四九九	六四九九	六四九九
愛媛	三三六九六	三三〇〇〇	六四六	四九二	四八二	三一								

南洋廳の南洋群島現住戸口調

南洋廳長官官房調査課の集計になる昭和十四年六月末日現在の南洋群島現住戸口調中の主要数字を掲ぐれば以下の如くである。

(備考) 本表には第二期作の分を含ませ

朝鮮人	一、二二五	八九五	三二〇	アラカベサン島	一、八九七	一、二五三	六四四
臺灣人	一	一	一	マラカル島	二、九四一	一、九六一	九八〇
島民	五、九五六	二六、九七〇	二四、九八六	ペリリュウ島	二、六一九	一、九三六	六八三
總數	三、八五二	二、〇六六	一、七六六	アングウル島	二、一九七	一、六一六	五八一
テヤモロ族	四八、一〇四	二四、九〇四	二三、二〇〇	春島	二、五三四	一、三五一	一、二八三
カナカ族	二四、九〇四	二四、九〇四	二三、二〇〇	夏島	二、九二一	一、七八五	一、二二六
外國人	一、二二五	六五	六〇	秋島	一、七六三	九六七	七九六
總數	二八、七七〇	一九、一一三	二八、〇〇六	冬島	一、〇六六	五〇七	五五九
邦人	二八、七七〇	一九、一一三	二八、〇〇六	月曜島	四九二	二二九	二五三
島民	九六〇六	五一	五二	火曜島	四九七	三二四	一八三
外國人	五一	五二	五二	水曜島	二、四三八	一、三四六	一、〇九二
人口	二八、七七〇	一九、一一三	二八、〇〇六	金曜島	四三三	二二九	二二四
總數	二八、七七〇	一九、一一三	二八、〇〇六	ポナベ島	一、〇七二	六、一九五	四、五二六
邦人	二八、七七〇	一九、一一三	二八、〇〇六	クサイ島	一、五五四	八四三	七一
島民	九六〇六	五一	五二	ヤルト島	一、七八三	九七六	八〇七
外國人	五一	五二	五二				

主要島別・内地人及島民別人口(男女計)

總數	七三、三二二	四三、七三六	二九、四八三	サイパン島	三、三六九	二、三五二	八四九
邦人	七三、三二二	四三、七三六	二九、四八三	テヤモロ族	二、三五二	一、三五二	八四九
内地人	七三、三二二	四三、七三六	二九、四八三	カナカ族	二、三五二	一、三五二	八四九
總數	二五、三〇二	七〇、七七三	五四、五二九				
邦人	二五、三〇二	七〇、七七三	五四、五二九				
内地人	二五、三〇二	七〇、七七三	五四、五二九				
總數	二五、三〇二	七〇、七七三	五四、五二九				
邦人	二五、三〇二	七〇、七七三	五四、五二九				
内地人	二五、三〇二	七〇、七七三	五四、五二九				

テニアン島	一五、五七三	一	六
ロタ島	四、三七八	七四〇	三
バカソ島	一八五	三九	六二
ヤツブ本島	九三二	三〇九	三、四三三
バベルダオ島	二、八四二	九四	三、四三三
コロール島	七、九八二	—	一、〇七〇
アラカベサン島	一、三三〇	一一	三三八
マラカル島	二、八一五	—	一八
ペリリユウ島	一、八三一	—	七八七
アンガウル島	一、三一八	一〇八	七五七
春島	一六四	—	二、三六四
夏島	一、五六三	—	一、三三一
秋島	四四四	—	一、二九三
冬島	八四	—	九八〇
月曜島	八	—	四八〇
火曜島	三〇一	—	一九六
水曜島	六六八	—	一、七六一
金曜島	一三	—	四三九
ポナベ島	四、八七五	八九	五、六八三
クサイ島	一九三	二	一、三五三
ヤルト島	四五九	—	一、三二〇

大阪府下工場労働者の疾病状態調査

大阪府工場課の調査になる大阪府下工場労働者の疾病状態調査の結果は左の如く、事變の進展に伴ひ憂慮すべき漸増の傾向を示してゐる。(職工五十人以上使用の工場に對する調査。)

肺結核及結核性疾患病臥率

(三月以上休業したる者千人に對し)

染織工業	男 二・一	女 一・一
機械及器具工業	男 二・七	女 一・四
化學工業	男 二・〇	女 一・九
飲食物工業	男 二・一	女 —
雜工業	男 三・八	女 〇・九
特別工業	男 九・四	女 —
脚氣病臥率	(三月以上休業したる者千人に對し)	
染織工業	男 二・九	女 二・七
機械及器具工業	男 六・九	女 四・九
化學工業	男 三・五	女 四・六
飲食物工業	男 —	女 四・一
雜工業	男 一・七	女 四・九
特別工業	男 三・八	女 —

尙、從來女子労働者に於て結核性疾患がつきもの様に考へられてゐた紡織工業は、本調査の示す所によると化學工業、機械及器具工業に較べて寧ろ低率にあることが示され、また脚氣病臥率は男女を通じて機械及器具工業が最高であることが注目される。

財団法人人口問題研究会紀元二千六百

年記念第四回人口問題全國協議會計畫

概要の發表

財団法人人口問題研究会に於ては豫ねて來る十一月紀元二千六百年記念第四回人口問題全國協議會計畫の準備を進めてゐるが、此の程左の如き計畫概要を決定して發表した。

紀元二千六百年記念第四回人口問題全國協議會計畫概要

光輝ある紀元二千六百年鑿國の理想を顯現し大東亞新秩序建設の現段階に當り國防國家の根基たる人口に關する諸問題の解決は蓋し喫緊の要務と謂ふべし

茲に紀元二千六百年記念第四回人口問題全國協議會計畫を開催し廣く衆智を聚め討議研鑽を竭し以て國策の根幹に資せん

二場 所 東京市神田區一ツ橋通一丁目一番地一橋講堂及如水會館

三日 時 昭和十五年十一月十四日(木) 十五日(金)

四 研究報告 左の如く五部門に分ち二日間に互りて研究報告會を開催す

第一部 人口問題に關する一般的研究

人口統計に關する一般的研究、人口理論に關する一般的研究、人口政策に關する一般的研究、人口一

特に我が國人口の歴史的並に地理的研究、戰爭の人口現象に及ぼす影響に關する研究、世界各國に於ける戰時及戰後及人口對策に關する研究、民族政策に關する基本的研究、其の他民族及人種に關する一般的的研究等

第二部 東亞諸民族に關する研究

諸外國並に外地に於ける日本民族の人口状態及其の活動に關する研究——特に滿支及南洋に於ける日